2016年4月26日

各　位

会 社 名　株式会社トランスジェニック
代表者名　代表取締役社長　福永　健司
（コード番号2342 東証マザーズ）
問合せ先　取　締　役　船橋　泰
（電話番号　03-6693-9571）

当社グループ会社(株)ジェネティックラボの株式会社理研ジェネシスとの協業について

当社グループの株式会社ジェネティックラボ（代表取締役社長：福永健司、札幌市、以下、「ジェネティックラボ」）は、株式会社理研ジェネシス（代表取締役社長：塚原祐輔、東京、以下、「理研ジェネシス」）との間でリキッドバイオプシー遺伝子解析に関する協業の協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。

ジェネティックラボは、理研ジェネシスが開発した「LBx®※1Probe」を使用し、リキッドバイオプシーによる遺伝子変異の受託解析を実施いたします。

リキッドバイオプシーとは、従来腫瘍組織から直接採取して行う診断に対して、低侵襲性で採取負担の少ない血液、尿等の体液を使ってバイオマーカーを測定し、がんの診断を行うものです。

「LBx®Probe」は、理研ジェネシスが独自に開発したプローブで、これを用いたデジタルPCR法などによって、がんの遺伝子変異、コピー数異常、融合遺伝子を高感度に検出することができ、体液中の腫瘍ゲノムの状態をモニタリングすることが可能です。

ジェネティックラボは、この理研ジェネシスが開発した「LBx®Probe」を用いた受託解析サービス2016年6月から開始する予定です。この新規サービスによって、従来のジェネティックラボが展開する受託解析サービスに加えてcfDNA※2解析を治験、臨床研究等で実施することが可能となり、製薬企業等に対してコンパニオン診断薬を見据えた多様な提案を行うことができるようになります。

また、本協業においては、学術情報、技術情報の収集と共有を行い、より精度の高い解析の実現を目指します。両社の間で技術の均てん化を図ることによって受託解析の効率化と補完が期待されます。

◆ご参考
※1　LBx®　:理研ジェネシスの遺伝子解析技術とリキッドバイオプシーを組み合わせた高感度遺伝子検査手法
※2　cfDNA：cell-freeDNA（細胞外遊離DNA）

【株式会社ジェネティックラボについて】
2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、 バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。

【株式会社理研ジェネシスについて】
ゲノム医科学分野で国際的な牽引役を果たしてきた独立行政法人理化学研究所の遺伝子解析技術を受けつぎ、2007年に理研ベンチャーとして設立。遺伝子レベルでの病気や薬の副作用の原因解明の研究が急速に進む中、オーダーメイド医療実現へ向けて、先進の遺伝子解析技術で貢献していきます。

ジェネティックラボ お問い合わせ先
株式会社ジェネティックラボ　臨床試験部
〒060-0009　北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196　札幌ITフロントビル3F
E-MAIL: info@gene-lab.com　http://www.gene-lab.com/

以上